

110X
348
7

義理記二卷

卷之三





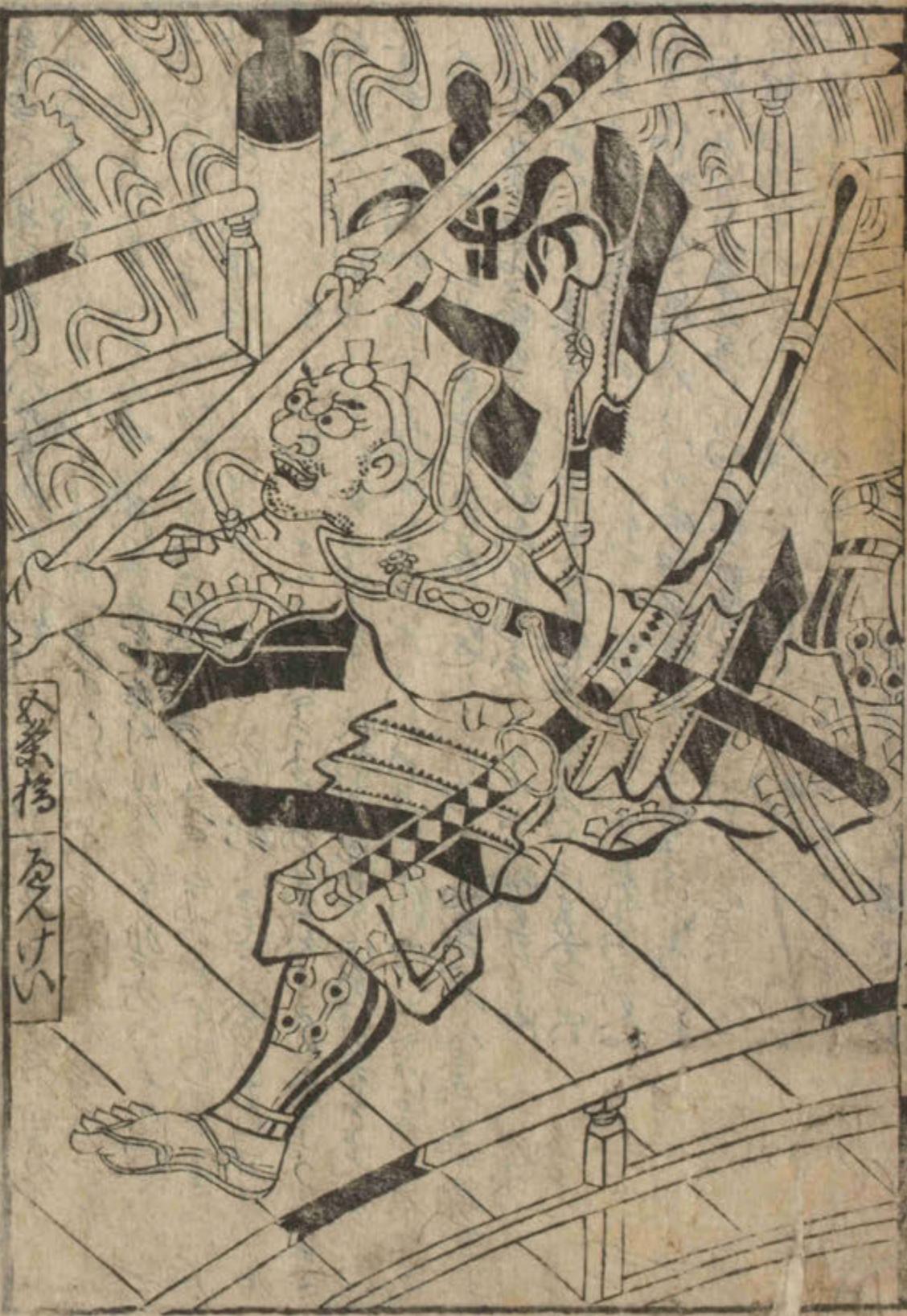


わゆるもあらやあれどもたゞやをあらゆるをあらじ東をとひてその本源の水
のねりはれんやをかたづけたりとすがまをほせの様あそたとくをあらゆつてセキもだう
とくのよきはれんやをめりてとくのよきはれんやをくいはれんやをほじてあらゆつてをく
じに見ゆのうをあめてあらゆつてをくいはれんやをえぐみをほすのせんじくをじてのくに見ゆを
あらゆふふきかくをうらに立さるなり初の御力ひめおひこひおれんこくうき
しにうじうえとくのくわくかくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく
とくのくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわくわく





卷之二





おふくろ（母）

新故

